

環境保全に貢献する アサノ大成基礎エンジニアリング

「行政対応能力」「原位置浄化工法」に強み

土壌・地下水汚染調査から対策工事まで

アサノ大成基礎エンジニアリングは、「確かな技術で、社会づくりに貢献する」を企業理念に、50年にわたって築き上げた知見、ノウハウ、技術を生かし、お客様へのトータルなサービスの展開、企業の資産活用の効率化、環境対策の充実、省エネ、省コストに貢献しています。地質調査、地下水調査と解析などを主な営業種目として取り扱っており、2002年からは土壌汚染対策への本格的な取り組みを開始しました。現在は、デベロッパーや石油元売会社を中心に受注実績を伸ばしており、汚染調査から対策工事まで一貫して実施しています。

セールスポイントは「行政対応能力」「原位置浄化工法」です。自治体の条例にもとづく調査では、自治体の届け出、調査・提案時に必ず同社社員が同伴し、コンサルタントとして支援しています。

原位置浄化工法は長年地盤調査で培ってきた経験を生かし、地盤状況に合致した最適な工法を提案します。これまで土壌ガス吸引、地下水揚水曝気、エアースパージング、化学的酸化法（フェントン工法）、バイオスティレーションの実績があります。また、施工中から施工後のモニタリングも実施しています。上記の汚染調査・対策技術の一方で、重金属汚染問題に対しては、オンサイトで迅速に結果が得られる簡易分析装置を開発し、対策工事の工期・コストの軽減に役立てています。

最近では、ブラウンフィールド再生を視野に入れた土壌汚染サイトの有効利用も提案しています。土壌汚染の措置として広く普及している掘削除去にかかる費用が高額なことは、ブラウンフィールドが発生する原因の一つとなっています。そこで、安価な原位置浄化のほか、汚染を残したまま、汚染リスクの適正管理により汚染サイトの有効活用について提案しています。

さらなる有効活用の一環として、地中熱ヒートポンプなど、省エネ・エコに配慮した取り組みを進めています。



原位置浄化の事例。上から順に浄化剤攪拌、土壌ガス吸引、フェントン工法。